60分～　屋内

2 情報収集・伝達訓練～いざという時に備えて

1 ねらい

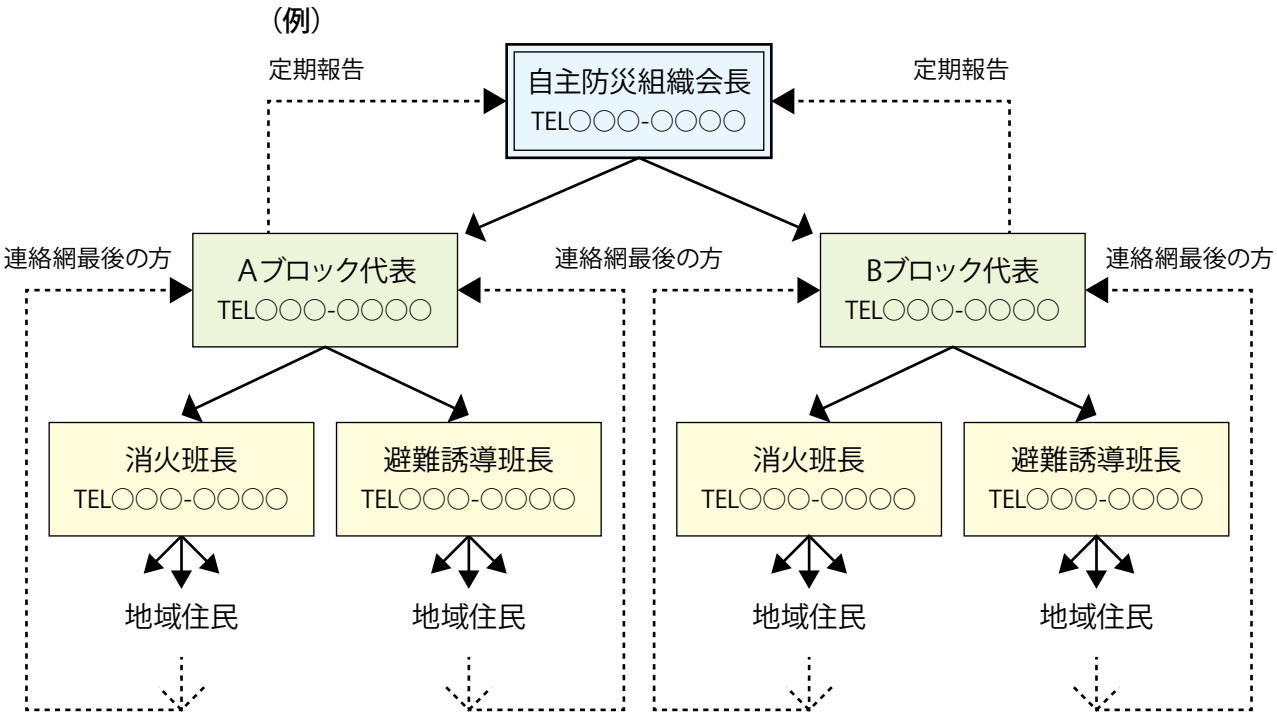
地域内の被災状況、災害危険箇所の巡視結果及び避難の状況などの情報を正確かつ迅速に収集、伝達することを目標にします。

2 必要なもの

緊急連絡網（各自）、電話（あれば携帯電話）、住宅地図（1冊）

3 進め方

(1)　まず、緊急連絡網を整備しましょう。



※次の伝達先の家の場所を住宅地図などで確認しておいてください。
（徒歩で連絡する必要がある場合に使用します）
※最後の方は、伝達された内容と伝達時刻をブロック代表などに折り返し、連絡してください。
※あらかじめ、上記のような決まり事を話し合っておきましょう。

(2) **情報収集する内容の概略を定めておきましょう**

現場の住所・目標、現場の状況、負傷者の有無と程度、今後予想される状況、現在の措置、発信者（通報者）、避難所の避難者数、避難状況など

【情報収集内容（例）】

報告内容	連絡先	受信者	報告時刻	発信者（通報者）	報告手段
	情報収集班	○○班長	7/21 17:00	△△	文書
現場の住所・目標	○○丁目○番地　○○川右岸の市道○○線○○橋付近 目標：○○橋商店街				
現場の状況	○○川右岸○○橋付近は避難判断水位を超えた				
負傷者の有無と程度	現在負傷者なし				
今後予想される状況	今後も雨は強まるので、低地にある○○橋商店街に濁水が流れ込むおそれがある				
現在の措置	○○橋及び市道○○線は通行止めを行い、消防団による土のう積み等水防活動中。また商店街においても、協力し合って各店舗先の土のう積みを行い、避難所への移動を始めている。				
避難所の避難者数	○○小学校に○○橋商店街30世帯（全体の約半数）				
避難状況	商店街の高齢者世帯は全員避難済み				

ステップアップ!

※情報収集するときは、メモをとるよう心がけましょう。
※電話が使えない場合やかかりにくいことを想定して、電話に頼らない情報伝達方法（無線、徒歩など）を計画しておきましょう。
※被害状況だけでなく、どういった方が地域で困っているかなど、人に関する情報についても収集するよう努めましょう。

4 情報伝達の方法

(1) 模擬情報を与えます。（例：○時○分、大雨で○○川が決壊するおそれがあり、○○町と○○町に避難勧告が発令されました。地域の住民の方は○○小学校まで避難してください。など）

(2) 地域の緊急連絡網を基に情報を伝達しましょう。次の連絡先が留守などで電話に出なかった場合はその次の方へ連絡します。この時、次の人に、前の人と連絡が取れなかったことを合わせて伝え、その情報を最後の人まで伝えます。

(3) 最終的に伝達された模擬情報が、どの程度正確に伝達されたかを確認します。例で挙げた緊急連絡網の場合には、連絡網最後の住民の方が、地区のブロック代表に連絡を受けた内容、かかってきた時間などを報告します。連絡が取れなかった人の情報も伝えます。

(4) ブロック代表は、定期的（10～20分おきなど）に自主防災組織会長へ伝達できた人数、伝達できなかった具体的な場所（名前）を伝えます。

(5) 最終的に、あらかじめ決めておいた時間がきたら終了します。自主防災組織会長は、集計に基づいて後日結果を発表し、改善点などがあれば皆さんで話し合いましょう。